

～鎌倉昭和レトロ～

参加者募集！！

親子で探検！鎌倉の魅力

写真の場所は
どこかなあ？



*答えは裏面にあるよ！



昭和54年撮影

お父さん・お母さん
が生まれた頃の鎌倉
を見に行こう！！



わたしたちの住む鎌倉には、お寺や神社、その他にも古くからある建物がたくさん残っています。また、いつもなにげなく目にしているまちの中の看板にも鎌倉ならではの工夫がされています。これらは、日本の他のまちではなかなか見られない、素敵なものばかりです。

そこで今回、皆で今の鎌倉とお父さん・お母さんが生まれた頃の鎌倉を写真で比べながら探検して、今ある鎌倉のまちの魅力について、またこれからもっと素敵なまちになるにはどうしたらいいかについて一緒に考えてみたいと思います。

お父さんやお母さんと一緒に参加して下さい

- 開催日時：平成26年1月25日（土） 午前10時～正午を予定
小雨決行、荒天の場合は中止
- 募集人数：小学校3年生～小学校6年生の児童とその保護者20組
（応募者多数の場合は抽選となります）
- 申込方法：はがきに住所、児童と保護者の氏名（ふりがな）、学校名、
学年、電話番号を記入し

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10

まちづくり景観部 都市景観課へ

EメールやFAXでも申し込みできます。

Eメール keikan@city.kamakura.kanagawa.jp

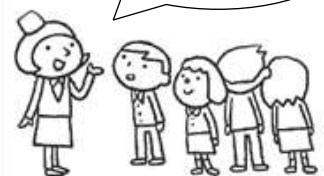
FAX 0467-23-3247

都市景観課 親子景観セミナー係宛



- 締め切り：平成25年12月27日（金）
当日消印有効
- 問い合わせ：鎌倉市まちづくり景観部都市景観課
0467-61-3477
- 集合場所：鎌倉市役所

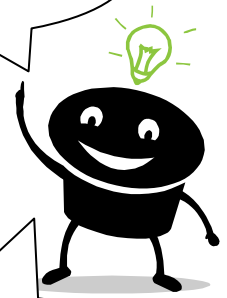
歩きやすい格好
で来てね～♪♪



正解は・・・鎌倉駅西口でした！！！！



みんなはわかったかな？



当日は他にもたくさん、昔の写真を紹介するよ！

今回の見所説明「旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）」

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)は平成22年に鎌倉市で初めて「景観重要建造物」に指定された建物で、映画文化を伝える川喜多映画記念館の敷地内に建ち、昔ながらの文化人の暮らしを伝える、棧瓦葺き寄棟の木造平屋建ての和風建築物です。

旧市街地の谷戸の高台に建つこの建物は、背後の山並みと棧瓦 葺きの屋根が調和し、地域を代表する魅力的な景観を創りだしています。



棧瓦 葺きとは・・・本格的な瓦屋根の作り方を簡単にしたもののことで、本瓦葺きより軽快な印象を与えるといわれているよ。
寄棟とは・・・4方向に傾斜を持つ屋根のことだよ。

■保護者の皆さんへ

鎌倉市では将来のまちづくり、景観づくりの担い手となる児童とその保護者の方に参加していただくためにこのようなセミナーを企画し、今回で13回目の開催になります。まち歩き、親子の対話を通じて自分の住むまちの歴史や魅力を再発見してもらえればと考えています。

鎌倉駅周辺は多くの市民や観光客で賑わう鎌倉の顔とも言うべき場所です。今回は子ども達が知らない昭和40年～50年代の風景を紹介し、現在の鎌倉と比較することで、鎌倉市の魅力をより深く知っていただくとともに、鎌倉市の景観形成に対する取り組みをご理解いただくきっかけになればと思います。

資料提供：鎌倉市中央図書館
撮影：鈴木 正一郎氏